

平成27年度

原町第一中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 木幡美賀

1 学校図書館の概要

学校の紹介

市内の中学校6校のうち生徒数が最も多い学校である。読書活動としては、毎朝15分間朝読書の時間を設けている。図書室は第一図書室と第二図書室があり、主に第一図書室を使用している。

平成27年度生徒数

1年	2年	3年	合計
115名	99名	115名	329名

(平成27年12月末現在)

学校派遣日数 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 佐藤照美教諭

学校図書館蔵書数(4月当初) 19,695冊

学校図書館受入冊数(3月末時点) 736冊

うち 市費購入冊数及び金額 372冊(723,102円)

うち 杉並文庫購入冊数 196冊

うち 寄贈資料冊数 152冊

うち PTA図書費購入冊数 16冊

2 平成27年度の課題及び目標

①課題 適切な本の更新作業。

→目標 廃棄基準に則して作業することで、授業などで使える本が常に棚に並んでいる状態にする。

②課題 全ての図書ラベルの見直し・付与。

→目標 正しい分類の元に配架することによって、生徒自身で適切な場所へ本を探しに行けるようにする。

③課題 第二図書室の環境整備。

→目標 無造作に置いてある棚と本を分類ごとにまとめ、管理しやすくする。

3 活動の方針

昨年に引き続き第一図書室・第二図書室の整理を進め、生徒が本を手に取りやすい環境を整えていく。貸出につながる広報活動の充実を図る。生徒達が気軽に入ってこられるような親しみや

すい場所を提供するよう心がける。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・図書だより発行 ・図書担当教諭との打ち合わせ ・新学期貸出準備 ・企画展示	・貸出し開始（27日～）	・第1回学校図書館支援会議 ・訪問アドバイス
5月	・図書だより発行 ・企画展示	・学級文庫入替え	・第2回学校図書館支援会議
6月	・図書だより発行 ・杉並文庫選書補助開始 ・企画展示	・学級文庫入替え	・杉並区学校図書館視察研修
7月	・図書だより発行 ・杉並文庫発注・受入れ ・企画展示 ・第二図書室整理	・学級文庫入替え	
8月	・図書だより発行 ・第二図書室整理		・第3回学校図書館支援会議 ・全校見学 ・読み聞かせ研修
9月	・図書だより発行 ・企画展示	・学級文庫入替え	・中央図書館来館 （1学年調べ学習で利用）
10月	・図書だより発行 ・市費選書補助開始 ・企画展示	・学級文庫入替え	・第4回学校図書館支援会議
11月	・図書だより発行 ・読書週間	・学級文庫入替え	
12月	・図書だより発行 ・市費発注・受入れ ・企画展示 ・第二図書室整理	・学級文庫入替え	・第5回学校図書館支援会議
1月	・企画展示	・学級文庫入替え	
2月	・企画展示	・学級文庫入替え	・第6回学校図書館支援会議
3月	・企画展示 ・第二図書室整理		・第7回学校図書館支援会議

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

年間を通しての業務

- ・図書のラベル付与
- ・フィルムコート装備
- ・図書の廃棄作業
- ・書架整理
- ・図書だより発行（月1回）

- ・季節の掲示物作成
- ・雑誌装備

<H27年度の購入雑誌一覧 17誌>

- ・子供の科学 ・Newsがわかる ・number
- ・ジュニアエラ ・月刊Piano ・新聞ダイジェスト
- ・Cut ・ワッツイン? ・ダ・ヴィンチ ・S-Style
- ・バンドジャーナル ・イラストレーション
- ・ストリートジャック ・ニコラ
- ・ディズニーファン ・MOE



企画展示

- ・4月～5月 「春の本」 追悼コーナー（長田弘氏）本屋大賞（上橋菜穂子氏）コーナー
- ・6月 「雨の本」
- ・7月 「夏に読みたい本」
- ・9月 「食欲の秋」 「敬老の日」
- ・10月～11月 「秋の夜にミステリー」 「背筋がゾットとする怖い本」
- ・12月 「冬の本」「クリスマスに関する本」追悼コーナー（水木しげる氏）
- ・1月 「笑う門には福来る」「受験生応援」
- ・2月 「バレンタインデー特集」「犬VS猫！」

展示コーナー例



9月展示「食欲の秋」



追悼コーナー



11月展示「怖い本」



2月展示
「バレンタイン特集」

1学期（4月～8月）

- ・担当教諭との打ち合わせ。
- ・書架移動。別々に配架していた文庫本を9類文学の棚に混配した。
- ・棚の配置換え。書架を2つ減らし、通路にゆとりをもたせた。
- ・依頼があったクラスに図書室利用の説明を行った。
- ・リクエストBOXを図書室に設置し、生徒の希望の声が届きやすくした。

- ・書架サインの作成。
- ・課題図書購入。図書委員に紹介文を書いてもらい廊下に掲示した。
- ・第二図書室の整理開始。廃棄する図書と残す図書の仕分けを行った。
- ・杉並文庫選書補助。
- ・杉並文庫受入れ（195冊）・登録・配架作業。



今年度杉並文庫。手に取りやすいようにできるだけ表紙を見せるように置き、1か月後に棚に配架した。



課題図書の紹介文を図書委員が作成。廊下に掲示した。



リクエストBOXを設置し、生徒の希望を選書に反映しやすくした。

2学期（9月～12月）

- ・1学年（115名）中央図書館を利用したの調べ学習。9月15日（火）午前9時30分～11時30分（60名）・午後13時～14時50分（60名）に分かれて来館。2階研修室を利用した。事前に学習内容を教えて頂いたので必要な資料をそろえることが出来た。また、ノートパソコンを4台用意した。

<調べ学習テーマ例>

- ・相馬野馬追について
- ・桜井古墳について
- ・三島神社について
- ・原町の特産品について
- ・無線塔について

特産品など情報量が少ないテーマについての資料提供が今後の課題である。

調べ学習の様子



- ・市費選書補助開始（生徒、先生方に事前にリクエスト用紙を配布）。
- ・読書週間（10月27日～11月9日）に合わせて、貸出した生徒に手作りしおりを進呈。
- ・第二図書室の整理。生徒と一緒に廃棄作業を進め、無造作に置かれていた棚を並べ直した。それに伴い仕分けした本を棚に配架する準備が整った。
- ・市費購入本の受入れ 登録・配架作業。
- ・寄贈本の選書, 登録・配架作業。

(整理前)



第二図書室
仕分けする前の本。

(整理後)



廃棄作業が進み、ほぼ棚に配架
することが出来た。



読書週間
支援員手作りのしおりを進呈した。

3学期（1月～3月）

- ・ 寄贈本の選書、受入れ。
- ・ 読書賞の準備・発表。図書室の貸出冊数が多かった生徒10名に「賞状」「雑誌の付録」「手作りしおり」をセットにして表彰した。



読書賞
「賞状」「雑誌の付録」「手作りしおり」



図書室の掲示板に1年間の集計結果を掲示した。

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・ 杉並文庫の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・ 市図書館の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理

6 学校図書館利用実績

（1）年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年	2年	3年	総合計
年間合計	816	336	242	1394
一人あたり	7.0	3.3	2.1	4.2
昨年度貸出冊数	60	75	110	245
昨年度比	1360%	448%	220%	569%

※ 1人2冊1週間の貸出 長期貸出期間1人3冊

② 学級文庫貸出冊数

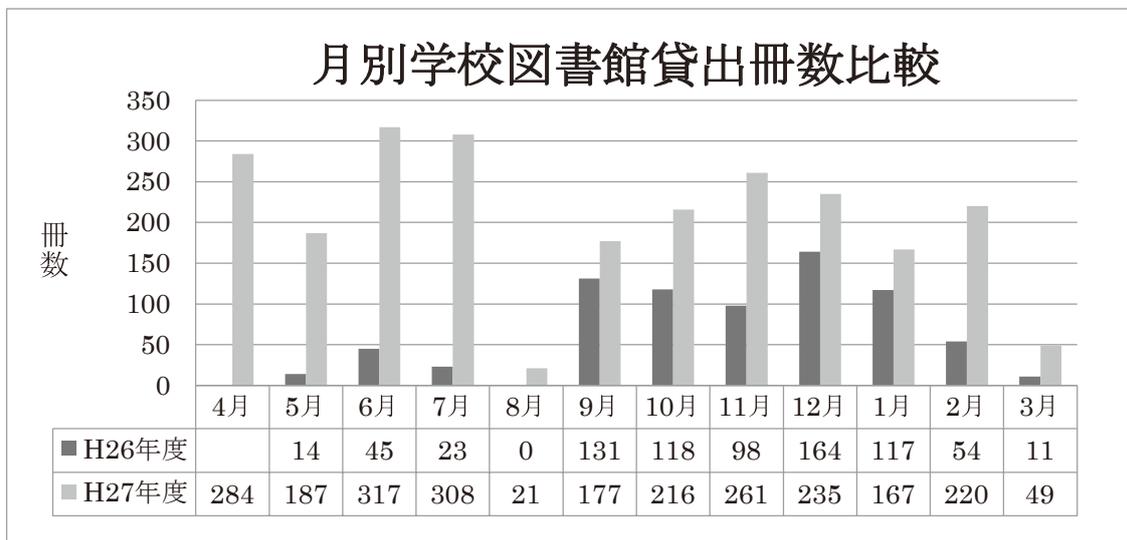
	1年 (4クラス)	2年 (3クラス)	3年 (4クラス)	総合計
学年合計	529	198	321	1048
昨年度比	316%	85%	247%	198%

※ 1クラス15冊以内 毎月交換

(2) 学校図書館利用実績比較

昨年度の学校図書館の利用実績と比較すると次の表となる。(表1)

表1 月別貸出冊数の比較



※ 利用実績＝「個人貸出」＋「学級文庫」

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- ・今年度から図書委員会による貸出が始まり、担当教諭の協力のもと放送での呼びかけが行われた。読書週間に合わせた企画の実施や、月ごとの展示なども行い生徒たちの興味を引くような図書室になるよう心がけた。生徒の声が届きやすいようにリクエストBOXを設置し、なるべく希望に沿えるように努めた。これらの取り組みによって図書室の存在を身近に感じてくれた生徒たちが足を運ぶようになり、貸出の増加につながった。
- ・第一図書室の9類を順番にグリーンラベルに変更し、フィルムコート装備を行った。
- ・第二図書室を書庫として使用できるように棚を並べ直し、受入れ年の古い図書の除籍とそれ以外の図書を大まかに分類することが出来た。

(2) 来年度に向けた課題

- ・適切な本の更新作業
今年度は第二図書室を中心に作業を行った。来年度は第一図書室の知識の図書を中心に行う。
- ・すべての図書ラベルの見直し・付与
すべての図書を行うには時間がかかるため長期的な課題と捉え、来年度も引き続き取り組んで行く必要がある。
- ・第二図書室の環境整備
受入れ年の古い図書の除籍と、それ以外の図書の分類を行ったが、本棚に配架する作業がすべ

て終了していないため来年度も引き続き行う必要がある。

- 見出し作り

目的の本を各自探し出すことが出来るように、分かりやすい見出しを作成する。

- 図書室の使い方についての周知

本年は希望があったクラスのみ図書室の使い方の説明を行った。その後の状況をみると説明をしたクラスの利用が多かったことから、図書室のオリエンテーションを行うことの重要性を実感した。

- 図書委員と連携した企画の実施

図書だよりの発行や委員会おすすめの本の紹介などを、どのような形で図書委員会と協力できるか担当教諭と相談しながら進めたい。

- 授業などでの資料提供の周知

授業で使う資料を提供できるということを先生方に声をかけるなどして広めていきたい。授業内容と関係した本の展示なども行いたいと考えている。そのために日々のコミュニケーションを密にする必要がある。